



分別収集でごみの減量リサイクル 平成24年度ごみ処理実績



ごみの分別収集は、環境保全や資源の有効利用につながります。リサイクルは、ごみを資源に変えます。市民の皆さん一人一人が取り組んだ資源化の状況をご紹介します。



市民部 生活環境課

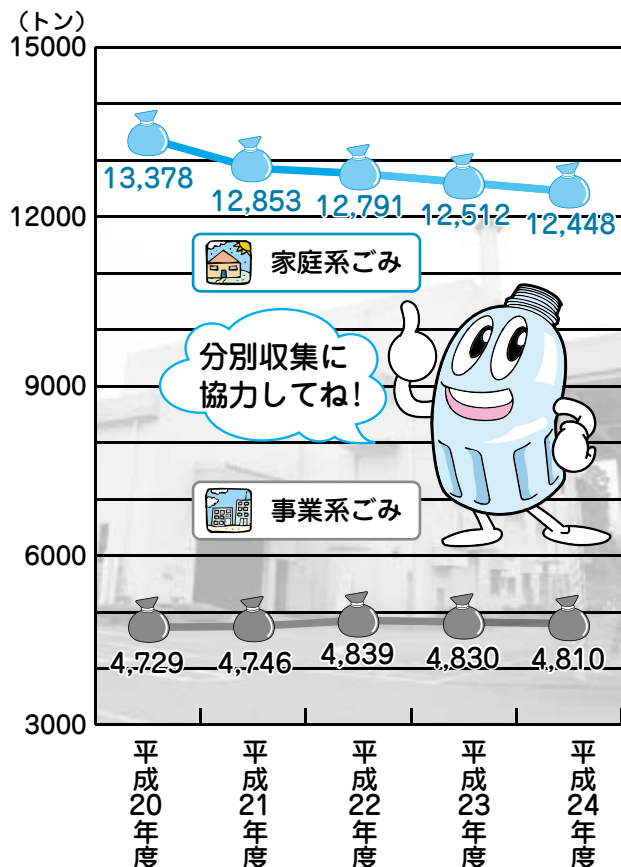
995-1816



美化センター

992-3210

ごみの総搬入量の推移



総搬入量が減りました

平成24年度のごみの総搬入量は17,258トンとなり、前年度より0.5%減りました。

このうち、家庭からのごみは全体の72%に当たる12,448トンで前年度に比べ64トン減りました。

また、事業所などからのごみは、全体の28%に当たる4,810トンで前年度に比べ20トン減りました。

家庭から出る可燃ごみは10,533トンで、前年度に比べ141トン(1.3%)増えています。また、事業所などの可燃ごみは4,723トンで前年度に比べ30トン(0.6%)減りました。

ひとり1日当たりの搬出量では、878gとなりました。これは市一般廃棄物処理基本計画の平成24年度目標値の882gを下回った結果になっています。



平成24年度の資源化の様子

平成24年度のご紙類の資源化量は、新聞紙374トン、雑誌など206トン、ダンボール133トンで総計は713トンでした。

びん類は239トンで、金属類は438トンでした。

また、プラスチック製容器包装は335トン、乾電池は13トン、ペットボトルは71トン、牛乳パックは4トンでした。

資源化総量は1,814トンで、前年度より258トン(12.5%)減り、総搬入量に占める資源化量の割合を示した資源化率は10.5%となりました。

その他プラスチック製容器包装の分別やペットボトルの拠点回収も、皆さんの協力で、順調な成果があがっています。

ごみの減量化と資源化を促進していくためには、ごみの組成を知り、減量化に対する意識を持つことが大切です。